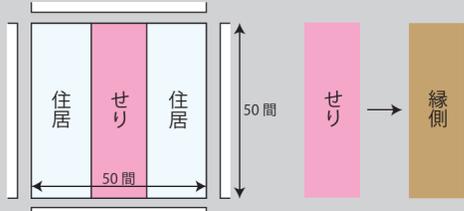


縁側でつなぐ歴史



01 コンセプト



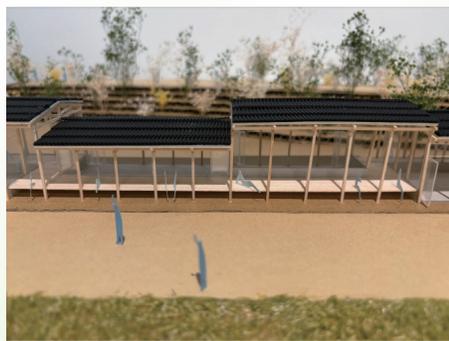
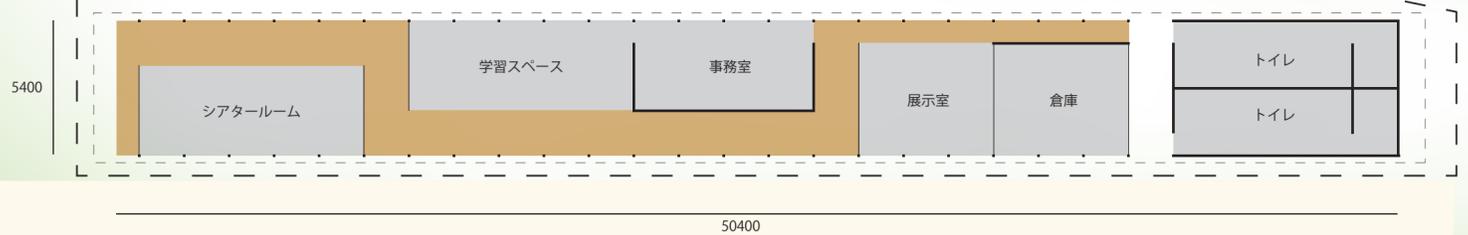
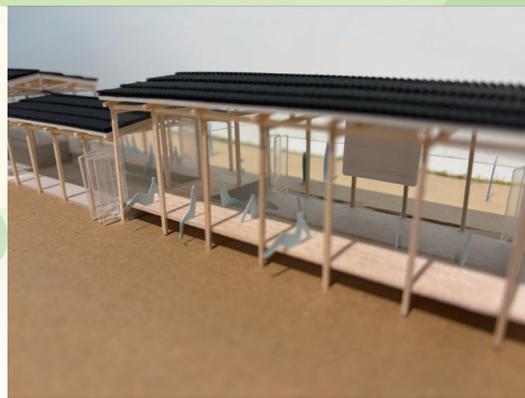
今回の提案では、駿府城の城下町にみられた町割りを参考に設計案を提案する。駿府城の城下町にみられる町割りは50間×50間の正方形に50間×20間の住居部分が二つあり、二つの住居部分の真ん中に「せり」と呼ばれるその区画ごとで機能の違う共有スペースのようなものを持っている。この提案では「せり」を「縁側」に置き換え、縁側に利用する人々の共有空間として提案する。

02 ダイアグラム



縁側は発掘調査中の現場を眺めたり、現場と反対側の樹々に囲まれた場所など様々な方向をむくことのできる縁側とした。ある方向ではシアタールームで歴史のビデオを見ることができ、逆を向くと樹々に囲まれた落ち着いた空間で、お茶を楽しむことができる。このようにひとつの空間で同時にさまざまな空間体験ができるように縁側を計画した。

03 平面図



04 断面図

S=1:200



S=1:200